

運審連  
委員

# サロン

殿下公民館主催事業  
令和3年8月初旬に開催された  
「男のものづくり」講座の参加写真



小物から収納庫までと様々ですが、思いついた物を時間も忘れ作っています。公民館の男のものづくり講座にも参加して、今流行りのDIYにて作った物を改良したり、塗装したりと楽しんでいます。



自宅玄関先にて  
これまでの主な作品と一緒に

殿下公民館運営委員長  
村本 治彦

コロナ禍での生活の中、社会活動などに制限を受け、外出もままならない状況ですが、気分転換にと元々好きであった日曜大工を始めました。

## 花壇の木柵づくり



今は特に花壇の木柵づくりに取り組んでいます。赤と白のペンキを塗り花壇の周囲に建植してみたら花とマッチして花壇全体が可愛らしくなり、部会の皆さんからも褒められ安心しました。これからも自身の健康のため、この木柵づくりを続けていきたいと思っています。

木田公民館運営委員  
飯田 則夫

木田地区環境部会員として花いっぱい運動の活動を部会の皆さんとご一緒させていただいています。皆さんとわいわい言いながら苗の植え方を考えたりして楽しんでいます。



自分で打ったそばは世界でただ一つ、  
まずいわけがない

私とそばの出会いは3~4歳の頃。今では、私のふるさとの今庄でもあまり行われなくなった「藪入り」(父の実家への正月の里帰り)のおみやげに、必ずもらってきたものの一つに、手打ちのゆでそばが重箱いっぱいに入っていました。温かいそばにおろしをかけて食べた味が今でも忘れられない。私のそば好きはその頃からです。あれから70数年が過ぎて自分流のそば打ちを趣味として今は、建築士活動や壮年会活動、公民館事業のイベント等で会員、地区民、子どもたちに味わって貰っています。一生懸命何も考えずにそばを打っている時のわたしの頭の中は空っぽ。“おいしかったよ”のひとことが嬉しい。コロナの影響で、ここしばらくイベントもなく残念だが、再び美味しいふくいそばを味わえる日を楽しみに待っています。

座右の銘：そばのように細くなが〜い付き合いを

私とそば打ち  
和田公民館運営委員長  
歌門 敬二



本郷公民館運営委員長  
内田 信行

福井市街地より13km西に位置し17町内が点在し、ゴルフ場もある本郷地区です。

私は1948年生まれ、20年前から社交ダンスを始め、タンゴ、ワルツなど踊ります。

1年に1回はアオッサ8Fでの発表会にも参加しております。ダンスは姿勢も良くなり健康にも又、ポケ防止にもなり、皆さんいかがですか。

## おトクきっぷで列車旅



3,600円で、敦賀から姫路までJR、乗り放題。私は、高野山まで行ってきました。南海電車の高野山バス(3,000円相当)付き。(福井-敦賀往復乗車券、特急券は別途購入)お値打ちだと思います。リュック背負って。

日之出公民館運営委員長  
黒川 照雄

こんなご時世ですから、お得なきっぷで列車旅はいかがですか。お勧めは、関西1ディバス。



丸く仕上がりました

## 庭木剪定

麻生津公民館運営委員長  
漆崎 與

充電式の生垣バリカンを購入したのを機に、今までの杉垣の簡単な剪定に加え、今年は、つつじ、サツキ、ツゲにも挑戦しました。盆までの暑い日は朝5時から2時間。すでに汗だくの作業着を着替え、一休み。元気な日は、さらに2時間。ツゲも丸く仕上がりました。もちろん雨の日は休みます。

## 編集後記

“コロナウイルスよ、いつまで我々をいじめるのだ”と声をあげて叫びたい。公民館活動もこの2年間かれこれ数回に及び制限を受け、少ない行事等での活動を強いられています。

そんな中68号でもコロナ禍での工夫をこらした公民館活動を紹介させていただきました。

2021年(令和3年)10月6日発行

運審連だより  
きずな

第68号



福井市公民館運営審議会連絡会

事務局 中央公民館内  
福井市手寄1-4-1 アオッサ5階  
TEL20-5459・FAX20-1538

河合の五月水田は  
まるで福井のウユニ塩湖…

# 夢玉花火

あかるい明日へファンファーレ♪



河合公民館「5/29 ほっとコンサート&夢玉花火」

夕日をバックに  
トランペットコンサート



## ご挨拶

福井市教育委員会事務局生涯学習課

課長 山本 桂一郎

4月に生涯学習課長を拝命いたしました。

皆様には、日頃から本市の生涯学習の推進に多大なご尽力を賜っており、心からお礼申し上げます。

さて、本市の公民館につきましては、各地区に設置することにより、地域の方々が集い、学び、そして人と人を結ぶ「場」となっています。

また、公民館で学習したことが地域に還元されることで、地域活動の活性化にも繋がっていると考えております。

現在、新型コロナウイルス感染症の影響により、各公民館では思うような事業展開ができない状況ではございますが、「新しい日常」への対応として、感染対策のほか、オンラインの活用なども進めているところです。

コロナ禍においても地域住民に愛され、誰もが気軽に利用できる公民館となりますよう、今後とも皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 一乗公民館

## 移転紹介

## コロナに負けずに移転 前を向いて

運審委員長 小林 彰

一乗地区でも、様々な地域行事やイベントが中止になる中、今年4月に一乗公民館が移転となりました。今までの西新町から東新町への移転です。あの忌まわしい17年前の福井豪雨では一乗谷川の氾濫により浸水し、老朽化等による地区民の願いで本年の4月に一乗ふるさと交流館を改修し、移転が出来ました。移転の際コロナ禍の中で福井市の生涯学習課をはじめ、多くの市の職員の皆さんに協力をしていただきました。また、山口館長をはじめ職員や多くの運審・各役員のメンバーが参加し早々と完了した次第です。

4月以降も各行事やイベントが中止や縮小となっていますが、私たち運営審議会のメンバーは、地区の集まる場として楽しい行事やイベントを計画し一日でも早いコロナ終息を願っています。皆さんも改修・移転した一乗公民館へ是非お越しください！

今は、コロナ対策をしっかりとして！！



玄関ホール



## 六条 地区

## 六条公民館

運審委員長 竹森 雅実

## Zoomで配信 歴史講座



中央公民館による Web 会議ツール Zoom を使って配信された講座が、7月17日(土)に開かれました。内容は「訪ねて感じる日本名城の魅力～日本の城～」で、講師は奈良大学文学部教授 千田嘉博氏でした。六条公民館では歴史講座を受講している9人が参加しましたが、日本の城だけでなく朝倉遺跡や福井城、平泉寺など地元福井のことも話題にして、分かりやすく、時にはユーモアを交えての講義に1時間があっという間に経ってしまったとは参加者の声でした。大変好評であったので、機会があれば、Zoom 配信による講座を受講者の数を増やして開きたいと考えている(館長談)とのことです。

なお、この事業は、「みんなが輝く、全国に誇れる ふくい」の実現に向けて、社会教育事業のより一層の充実を図るための中央公民館の講座で、市内の8公民館が参加したことも付け加えておきます。

## 足羽 地区

## 足羽公民館

運審委員長 坂井 国夫

## 初の試み! 『あすわ青空マルシェ』であふれる笑顔



足羽地区は高齢化率が36%と高い地区です。公民館事業で花壇に花を植えていると「いーのー、うちらは買い物に行く足がないんで花苗も買われんわ!」「車の免許を返納したらどこも行けない」との声。高齢者で交通手段のない方に楽しく買い物ができ、交流する場を創生しようと6/22(火)『あすわ青空マルシェ』を開催することとしました。

福井農林高校の先生に相談したところ、生徒が大切に育てた夏の花苗を安価(60円/株)でいただけることとなり、さらに花の育て方や品種名等のPOPも作っていただきました。コロナ禍であるので自治会連合会ごとに時間を分け来場していただきました。

花苗以外にも、近隣の朝採れ野菜や足羽山の素敵なcaféのパン、地区にある店舗の和菓子等も併せて販売することとなりました。

コロナ禍ではありますが、大勢の高齢者がお越しになり久しぶりの再会にスタッフ共々笑顔にあふれておりました。今後もコロナの状況のみて季節に合わせた内容で実施したいと考えております。

